

岡崎市病院事業経営強化プラン(2023～2027年度)

2024年度実績評価書

岡崎市

2025年10月

目 次

1	はじめに	1
2	取り組みの概要	1
3	医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標	
(1)	がん医療	2
(2)	脳卒中対策	2
(3)	心血管疾患対策	3
(4)	糖尿病対策	3
(5)	精神医療	4
(6)	救急医療	4
(7)	周産期医療	4
(8)	小児医療	5
(9)	へき地医療支援	5
(10)	医療機能	5
(11)	医療の質	6
(12)	連携強化	6
(13)	医師確保	7
4	経営指標に係る数値目標	
(1)	入院延患者数、新入院患者数	8
(2)	平均在院日数	8
(3)	外来延患者数	9
(4)	入院診療単価	9
(5)	外来診療単価	10
(6)	D P C 入院期間Ⅱ以内率	10
(7)	修正医業収支比率等	11
(8)	経常収支比率	11
(9)	現金保有残高	12
(10)	企業債残高	12
5	その他の主な取り組み	13
6	数値目標と実績	15
7	収支計画と決算	17
8	2024年度の取り組みへの評価	19
	【参考】令和6年度岡崎市病院事業貸借対照表	20

1 はじめに

本評価書は、2023年3月に策定した「岡崎市病院事業経営強化プラン（2023～2027年度）」について、2024年度の病院事業を点検・評価し、今後の経営改善につなげるものであります。

2 取り組みの概要

岡崎市民病院は、2024年度に厚生労働省から大学病院本院に準じた診療密度と一定の診療機能を有する病院とされる「DPC 特定病院群」の指定を受けました。また、入院・退院に関する相談・支援や医療福祉制度に関する相談窓口などを集約した「患者サポートセンター」を開設し、患者・家族の支援体制の充実を図りました。

同時に第三次救急医療機関、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、地域中核災害拠点病院、地域周産期母子医療センターとして、救急医療、がん医療、災害医療、小児医療、周産期医療など、高度で質の高い安全安心な医療を提供しました。

また、2024年4月から医師の時間外労働の上限規制が設けられたことによる労働時間短縮に向けた取り組みを進め、医師の働き方改革に対応しました。

2024年度の経営状況は、医業収益のうち入院収益は患者数及び診療単価が増加し、前年度比5億9千万円増の157億9千万円、外来収益は診療単価が増加し、前年度比3億2千万円増の80億円となりました。医業外収益のうち他会計負担金は前年度比3億8千万円増の15億4千万円となり、前年度に9億8千万円あった新型コロナウイルス感染症関連の補助金は皆減となりました。一方医業費用は、給与費が前年度比8億6千万円増の131億8千万円、材料費が前年度比4億3千万円増の75億4千万円、経費は前年度比3億円増の36億3千万円となりました。医業収益の増加を上回る医業費用の増加により、経常収支比率は97.1%となりました。

3 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標

(1) がん医療

(単位：件、%)

項目	2024年度 目標数値 ①	2024年度 実績 ②	2023年度 実績 ③	達成率 ②/①	前年度対比 ②/③	2027年度 目標数値
外来化学療法件数	6,700	7,879	7,166	117.6	109.9	6,700
放射線治療件数	7,932	6,949	5,926	87.6	117.3	8,246
院内がん登録全数	2,745	1,915	1,788	69.8	107.1	2,854

【評価】

外来化学療法件数は、各診療科の対象患者数の増加やガイドラインの変更による化学療法の適用対象の拡大により増加しており、実施時間枠の改善に努めました。また、化学療法実施前に必要な検査の採血を前日に行い、更なる時間枠の効率的な運用が可能となる取り組みを進めるとともに、一部を短期の化学療法入院に移行するなど入院外来合わせた化学療法件数の増加にも取り組んでいきます。

放射線治療件数の2024年度実績は、若手医師を新たに確保したことにより2023年度実績を上回りました。今後はこれまで少なかった肝定位照射の増加に取り組んでいきます。なお、安全性と治療効果が高まるとされ治療期間が短期間になる前立腺IMRT寡分割照射が増加することで件数は減少となることも考えられます。

院内がん登録全数の増加は、地域の医療機関への訪問や広報などの活動により紹介患者が増加したことにより増加しました。そのほか、放射線画像診断報告書確認による院内紹介の増加に取り組み、検診精査のための外来の周知に努め、がん疑い患者の受診を促しています。なお、初回治療数は1,723例(前年度比138例増)と2019年の1,728例に近づきつつあります。

(2) 脳卒中対策

(単位：人、%)

項目	2024年度 目標数値 ①	2024年度 実績 ②	2023年度 実績 ③	達成率 ②/①	前年度対比 ②/③	2027年度 目標数値
脳卒中退院患者数	816	740	732	90.7	101.1	895

【評価】

前年度対比では増加しているが目標数値を下回っている状況であ

り、脳梗塞に関して、質の高い診療及び脳神経内科と脳神経外科との連携により、生命及び機能予後を改善出来る症例の増加を図っていきます。脳卒中患者の多くは救急搬送されるため、救急搬送の受入要請を断らない体制を維持していきます。また、脳卒中地域連携パスの適用率を向上させ、地域の医療機関との連携と機能分化を推進していきます。

(3) 心血管疾患対策

(単位：人、%)

項目	2024年度 目標数値 ①	2024年度 実績 ②	2023年度 実績 ③	達成率 ②／①	前年度対比 ②／③	2027年度 目標数値
心血管疾患退院患者数	891	1,201	1,157	134.8	103.8	966

【評価】

心血管疾患退院患者数は、目標数値及び前年実績を上回っていますが、地域の医療機関への訪問や医師が参加する研究会などにより広報に努め、心臓胸部大血管手術症例を確保し、高度医療の施設要件である心臓血管外科専門医機構基幹施設を維持していく必要があります。

(4) 糖尿病対策

(単位：人、%)

項目	2024年度 目標数値 ①	2024年度 実績 ②	2023年度 実績 ③	達成率 ②／①	前年度対比 ②／③	2027年度 目標数値
糖尿病退院患者数	472	186	179	39.4	103.9	501

※ 目標数値算出の参考とした 2021 年度実績に誤りがあったため、2024 年度目標数値を訂正しています。

【評価】

糖尿病治療内容が変化する中で糖尿病教育入院の減少の影響により目標数値を大幅に下回っています。糖尿病に関連する口腔疾患で歯科診療所を受診される方がおり、糖尿病に関する医科歯科連携推進のため、岡崎歯科医師会との連携を開始しました。受診患者には糖尿病教育入院の重要性を説明し入院患者の増加を図っていきます。

(5) 精神医療

(単位：人、%)

項目	2024年度 目標数値 ①	2024年度 実績 ②	2023年度 実績 ③	達成率 ②／①	前年度対比 ②／③	2027年度 目標数値
認知症疾患医療センター 専門医療受診患者数	450	500	513	111.1	97.5	450

【評価】

認知症診療の専門性や、アミロイド PET 検査、抗認知症薬投与といった最先端の治療を行えることの知名度向上のため、医師会会員向け及び市民向け講演会などを実施し、新規受診患者数の確保に努めました。今後も認知症疾患医療センターの役割を周知し、地域の医療機関との連携強化を引き続き行なっていきます。

(6) 救急医療

(単位：人、%)

項目	2024年度 目標数値 ①	2024年度 実績 ②	2023年度 実績 ③	達成率 ②／①	前年度対比 ②／③	2027年度 目標数値
救急外来受診患者数	20,856	22,689	22,409	108.8	101.2	21,170
救急搬送件数	9,132	8,696	9,127	95.2	95.3	9,732

【評価】

救急搬送件数の減少は、愛知医科大学メディカルセンターが 365 日 24 時までの 2 次救急体制を整備した影響と考えられます。救急搬送の受入要請を断らない体制を維持していきます。

(7) 周産期医療

(単位：件、人、%)

項目	2024年度 目標数値 ①	2024年度 実績 ②	2023年度 実績 ③	達成率 ②／①	前年度対比 ②／③	2027年度 目標数値
分娩件数	543	405	427	74.6	94.8	543
ハイリスク分娩件数	174	116	144	66.7	80.6	174
母体搬送件数	80	38	69	47.5	55.1	80
産科外来紹介患者数	350	274	265	78.3	103.4	350

【評価】

分娩件数の減少は、少子化の影響がありますが、無痛分娩を希望する傾向の影響もあると考えられます。地域周産期母子医療センターと

して、新生児特定集中治療室を有しております産科部門、新生児部門、各診療科と協力しながら、あらゆる周産期医療に対応できる体制を整えていることを情報発信していくことが必要です。また、無痛分娩実施を検討していく必要があります。

(8) 小児医療

(単位：人、%)

項目	2024年度 目標数値 ①	2024年度 実績 ②	2023年度 実績 ③	達成率 ②/①	前年度対比 ②/③	2027年度 目標数値
小児新入院患者数	2,709	2,831	3,150	104.5	89.9	2,620

【評価】

小児新入院患者数の2024年度実績は、2023年度に感染症が流行したことの反動減により2023年度実績を下回りました。今後も引き続き地域の小児科医療機関との連携を強化していくことが必要であります。

(9) へき地医療支援

(単位：件、%)

項目	2024年度 目標数値 ①	2024年度 実績 ②	2023年度 実績 ③	達成率 ②/①	前年度対比 ②/③	2027年度 目標数値
へき地代診医・医師派遣件数	12	63	69	525.0	91.3	12

【評価】

へき地代診医・医師派遣件数の2024年度実績は、東栄診療所へ月4回の医師派遣を行ったことにより目標数値を大きく上回りました。今後もへき地医療拠点病院として、引き続きへき地医療支援の継続が必要であります。

(10) 医療機能

(単位：件、%)

項目	2024年度 目標数値 ①	2024年度 実績 ②	2023年度 実績 ③	達成率 ②/①	前年度対比 ②/③	2027年度 目標数値
手術件数	6,150	6,023	5,744	97.9	104.9	6,510

【評価】

これまで手術室全体を統括する部署がなく、全体的な視点での管理ができていなかったため、手術センターを組織化して手術室稼働状況を分析し、午前中や12時前後の稼働率を上昇させることができました。今後、手術間インターバルの縮小などによる手術室の効率的な運用や、手術実施の予定入院患者を増加させるために地域の医療機関からの紹介患者を増加させる取り組みが必要あります。

(11) 医療の質

(単位：%)

項目	2024年度 目標数値 ①	2024年度 実績 ②	2023年度 実績 ③	達成率 ②／①	前年度対比 ②／③	2027年度 目標数値
クリニカルパス適用率	60.0	65.3	64.8	108.8	100.8	60.0

【評価】

クリニカルパス適用率は、2024年度中に22件の新規パスが作成されたこともあり、目標数値及び2023年度実績を上回りました。診療報酬改定によりDPC入院期間の日数設定が短縮傾向となっているため、クリニカルパスの見直しを行ったうえで、引き続きクリニカルパス適用率の向上が必要あります。

(12) 連携強化

(単位：%、件)

項目	2024年度 目標数値 ①	2024年度 実績 ②	2023年度 実績 ③	達成率 ②／①	前年度対比 ②／③	2027年度 目標数値
地域医療支援病院紹介率	80.0	76.8	75.6	96.0	101.6	80.0
地域医療支援病院逆紹介率	105.0	96.5	110.7	91.9	87.2	105.0
地域連携クリニカルパス 適用数	480	589	552	122.7	106.7	480

【評価】

地域医療支援病院として地域の医療機関との機能分化と連携強化を図るため、医師による医療機関訪問を積極的に行つたことにより、地域の医療機関からの紹介患者数は増加しました。一方、当院での急性期の治療により状態が安定した患者を地域の医療機関へ紹介する逆紹介患者数は減少しました。また、救急で受診し他の医療機関での入院治療が可能な高齢者の転院搬送を開始しました。これ

らの取り組みにより、地域医療支援病院紹介率は2023年度と比較し、1.2ポイント増加し、地域医療支援病院逆紹介率は14.2ポイント減少しました。後者は時間内救急搬送数の減少と診療情報提供の手順見直しが主な要因と考えられます。

地域連携クリニカルパスは現在12疾患で運用されていますが、新規の地域連携クリニカルパス適用数は前年度比37件増の589件となりました。今後も引き続き地域医療支援病院として、地域の医療機関との連携強化と機能分化の推進に取り組む必要があります。

(13) 医師確保

(単位：人、%)

項目	2024年度 目標数値 ①	2024年度 実績 ②	2023年度 実績 ③	達成率 ②/①	前年度対比 ②/③	2027年度 目標数値
常勤医師数	213	209	208	98.1	100.5	214
臨床研修医受入人数	30	30	29	100.0	103.4	30
専攻医受入人数	41	40	37	97.6	108.1	41

【評価】

常勤医師数の2024年度実績は、関連大学医局へ働きかけを行い、前年度比1名増となりました。不足する診療科については引き続き医師の確保に努めています。

臨床研修医受入人数は、研修先として選ばれるように合同説明会への参加、病院単独の説明会や医学生を対象とした内科セミナー開催などを行ったことにより採用枠人数を採用できました。

内科、小児科及び外科の専攻医、緩和ケアレジデントを募集しており、専門医を目指す各専門研修プログラム、指導体制を整備しています。引き続き医師確保のための取り組みを継続していく必要があります。

4 経営指標に係る数値目標

(1) 入院延患者数、新入院患者数

(単位：人、%)

項目	2024年度 目標数値 ①	2024年度 実績 ②	2023年度 実績 ③	達成率 ②/①	前年度対比 ②/③	2027年度 目標数値
入院延患者数	186,015	201,316	194,196	108.2	103.7	188,819
新入院患者数	15,846	17,517	17,147	110.5	102.2	16,084

【評価】

入院延患者数の2024年度実績は、目標数値及び2023年度実績を上回りました。

医師による医療機関訪問を積極的に行うなど地域の医療機関との連携を推進したことなどにより、紹介患者数の増加（2023年度比1,097人増）に伴い、新入院患者数が増加しました。

(2) 平均在院日数

(単位：日、%)

項目	2024年度 目標数値 ①	2024年度 実績 ②	2023年度 実績 ③	達成率 ①/②	前年度対比 ③/②	2027年度 目標数値
平均在院日数	10.8	10.5	10.4	102.9	99.0	10.8

【評価】

平均在院日数の2024年度実績は、目標数値より短縮できましたが、2023年度実績より0.1日長くなりました。平均在院日数は入院患者の疾病構成などにより変動しますが、急性期機能にあった患者獲得とDPC制度で定められた平均的な入院期間（DPC診断群分類の入院期間Ⅱの日数。以下、「入院期間Ⅱ」という。）に応じた入院期間とすることに取り組みました。具体的には、各診療科に入院期間Ⅱを超えている患者の提示や、入院期間Ⅱを超えるDPC診断群分類を提示し、入院期間Ⅱ以内の退院を促しました。

また、転院調整システムの導入により、転院先医療機関との患者情報共有や転院調整の迅速化を図りました。そのほか、在院日数管理と患者情報共有のための地域連携クリニカルパスを各医療機関同士での活用や、転院先医療機関と早期転院体制の構築を併せて進めました。

(3) 外来延患者数

(単位：人、%)

項目	2024年度 目標数値 ①	2024年度 実績 ②	2023年度 実績 ③	達成率 ②/①	前年度対比 ②/③	2027年度 目標数値
外来延患者数	290,822	305,585	307,654	105.1	99.3	295,205

【評価】

外来延患者数の 2024 年度実績は、目標数値を上回りましたが 2023 年度実績を下回りました。2023 年度は新型コロナワクチン集団接種人数 10,674 人が含まれており、2024 年度は 0 人であったため、新型コロナワクチン集団接種者を除く 2023 年度の外来患者数 296,980 人と比較して、2024 年度は 8,605 人増加しました。

増加要因としては、地域医療連携推進による紹介患者数の増加（2023 年度比 1,097 人増）や、外来治療センターでの化学療法件数の増加（2023 年度比 1,032 件増）及び放射線治療件数の増加（2023 年度比 1,023 件増）が主なもので、当医療圏で果たすべき役割によるものでした。

今後は更に紹介患者の増加に取り組む一方で、新たな患者が受けられるよう急性期の治療により状態が安定した患者は地域の医療機関に逆紹介して、外来機能の適正化を図りつつ、新規患者の獲得を進める必要があります。

(4) 入院診療単価

(単位：円、%)

項目	2024年度 目標数値 ①	2024年度 実績 ②	2023年度 実績 ③	達成率 ②/①	前年度対比 ②/③	2027年度 目標数値
入院診療単価	85,327	78,439	78,250	91.9	100.2	97,652

【評価】

入院診療単価の 2024 年度実績は、目標数値を下回りましたが、2023 年度実績を上回りました。目標数値は過去の平均伸び率を見込んで算出していますが、実績との乖離があります。診療報酬の新たな項目や上位項目の算定に取り組みました。

今後は、手術実施の予定入院患者の増加、急性期の治療を終えた患者の転院・退院の促進、DPC 入院期間 II 以内の退院促進など、更に入院診療単価を高める取り組みが必要あります。

(5) 外来診療単価

(単位：円、%)

項目	2024年度 目標数値 ①	2024年度 実績 ②	2023年度 実績 ③	達成率 ②／①	前年度対比 ②／③	2027年度 目標数値
外来診療単価	27,502	26,195	24,963	95.2	104.9	28,504

【評価】

外来診療単価の2024年度実績は、目標数値を下回りましたが、2023年度実績を上回りました。増加要因として、地域の医療機関への訪問などの活動による紹介患者の増加や外来化学療法件数の増加、6月の診療報酬改定により新たな項目の算定などがあります。今後も紹介受診重点医療機関として、紹介患者の獲得と急性期の治療により状態が安定した患者を地域の医療機関に逆紹介していくことが必要あります。

(6) D P C 入院期間Ⅱ以内率

(単位：%)

項目	2024年度 目標数値 ①	2024年度 実績 ②	2023年度 実績 ③	達成率 ②／①	前年度対比 ②／③	2027年度 目標数値
DPC入院期間Ⅱ以内率	70.0	67.3	70.0	96.1	96.1	70.0

【評価】

DPC入院期間Ⅱ以内率の2024年度実績は、6月の診療報酬改定により、入院期間Ⅱの日数設定が短くなっているものが多くあり、目標数値及び2023年度実績を下回りました。各診療科に入院期間Ⅱを超えた患者の提示や、入院期間Ⅱを超えるDPC診断群分類を提示して、入院期間Ⅱ以内率の向上を図っています。また、クリニカルパスを入院期間Ⅱに対応する見直しをすること、入退院支援として予定入院患者には入院前から退院後の療養を患者・家族に考えていただくための説明、転院先医療機関の提示などを一層推進していく必要があります。

(7) 修正医業収支比率等

(単位 : %)

項目	2024年度 目標数値 ①	2024年度 実績 ②	2023年度 実績 ③	達成率 ②／①	前年度対比 ②／③	2027年度 目標数値
修正医業収支比率	94.4	93.0	95.4	98.5	97.5	98.3
給与費対修正医業収益比率	51.5	54.3	52.7	105.4	103.0	48.4
薬品費対修正医業収益比率	20.2	20.1	20.0	99.5	100.5	20.1
診療材料費対修正医業収益比率	11.3	10.9	10.4	96.5	104.8	11.3
委託料対修正医業収益比率	9.5	9.5	9.2	100.0	103.3	8.9

【評価】

修正医業収支比率の 2024 年度実績は、目標数値を 1.4 ポイント、2023 年度実績を 2.4 ポイントそれぞれ下回りました。更なる収益増加及び適切な費用支出が必要です。

給与費対修正医業収益比率の 2024 年度実績は、目標数値を 2.8 ポイント上回り、2023 年度実績を 1.6 ポイント上回りました。

薬品費対修正医業収益比率の 2024 年度実績は、目標数値を 0.1 ポイント下回りましたが、2023 年度実績を 0.1 ポイント上回りました。

診療材料費対修正医業収益比率の 2024 年度実績は、目標数値を 0.4 ポイント下回り、2023 年度実績を 0.5 ポイント上回りました。

委託料対修正医業収益比率の 2024 年度実績は、目標数値と同じ、2023 年度実績を 0.3 ポイント上回りました。

(8) 経常収支比率

(単位 : %)

項目	2024年度 目標数値 ①	2024年度 実績 ②	2023年度 実績 ③	達成率 ②／①	前年度対比 ②／③	2027年度 目標数値
経常収支比率	97.6	97.1	102.3	99.5	94.9	101.8

【評価】

経常収支比率の 2024 年度実績は、目標数値を 0.5 ポイント下回り、2023 年度実績を 5.2 ポイント下回りました。2024 年度は、入院患者数の増加などで医業活動は改善してきており、経常収益は収支計画を 4 億 4,400 万円上回る 266 億 7,500 万円を確保しましたが、給与費の大幅な増加などにより、経常費用は収支計画を 5 億 1,500 万円上回る 274 億 7,700 万円となつたため、経常収支比率の目標数値には及

ばない結果となりました。経営強化プランは、令和8年度以降に経常収支比率100%以上を目指す計画であり、目標達成には費用の増加を超える収益増加が必要となります。

(9) 現金保有残高

(単位：百万円、%)

項目	2024年度 目標数値 ①	2024年度 実績 ②	2023年度 実績 ③	達成率 ②/①	前年度対比 ②/③	2027年度 目標数値
現金保有残高	4,065	7,730	9,734	190.2	79.4	4,831

【評価】

現金保有残高の2024年度末実績は、目標数値を36億6,500万円上回りましたが、これは2023年度の収支計画及び目標数値の算出に見込んでいない新型コロナウイルス感染症関連の補助金収入により、2023年度末の現金預金残高が97億3,400万円となったことによります。

また、2023年度末実績と比較し20億400万円減少しましたが、うち9億円は公金の効果的な運用のため、有価証券取得による投資を行ったことでの減少であり、実質的には2023年度末からは11億400万円の現金減少です。

今後、統合情報システムの更新、高額医療機器の更新などを予定しているため、残高の確保に努める必要があります。

(10) 企業債残高

(単位：百万円、%)

項目	2024年度 目標数値 ①	2024年度 実績 ②	2023年度 実績 ③	達成率 ②/①	前年度対比 ②/③	2027年度 目標数値
企業債残高	10,255	10,177	11,180	99.2	91.0	8,947

【評価】

企業債残高の2024年度末実績は、建設改良費の実績減などにより目標数値を78百万円、2023年度末実績を1,003百万円それぞれ下りました。

5 その他の主な取り組み

(1) 診療報酬改定への早期対応により収入の確保に努めました。

ア 画像診断管理加算の上位項目への変更

医療 DX 施策の一つとして、AI 技術を活用した放射線画像診断補助ソフトウェアの購入、人工知能技術を活用した放射線画像診断補助ソフトウェア使用方針の制定、夜間及び休日の画像診断体制の構築、精度管理責任者の日本医学放射線学会実施の研修受講、日本医学放射線学会認証施設に登録を行い、2024 年 11 月から画像診断管理加算 2 から 3 に変更しました。

イ 特定集中治療室管理料の上位項目の要件充足へ

集中治療センターの ICU15 床を 8 床に、HCU15 床を 22 床に変更する改修工事の実施、要件を満たす専任医師の配置、研修修了看護師の配置、看護体制を ICU8 床、HCU22 床に変更、特定集中治療室管理料 1 の重症度、医療・看護必要度基準の充足、SOFA スコアの入力などを行い、特定集中治療室管理料 1 の施設基準の要件充足に努めました。

ウ 連携強化診療情報提供料の算定

紹介元医療機関からの受診依頼票の様式に、診療状況文書の提供希望の文言を追加し、紹介元医療機関の求めに応じて診療状況を示す文書を提供した場合に連携強化診療情報提供料の算定を開始し、紹介元医療機関への情報提供の充実と連携強化を図りました。

エ ハイケアユニット入院医療管理料の早期離床・リハビリテーション加算の算定

要件を満たす医師、看護師、理学療法士等から構成されるチームの設置、手順書の整備を行い、患者の早期離床の取り組みを開始しました。

オ 下り搬送の実施

入院治療の機能分化及び在院日数の短縮のため、外来受診患者(一般外来、救急外来)で医師から即日転院の依頼があった患者及び現在の状態が転院先の病院で治療が可能な患者を対象に 9 月から下り搬送を開始しました。

(2) 地域医療機関との連携強化

医師が 49 の医療機関へ訪問し、当院での診療内容などの説明を行つ

たほか、紹介元医療機関への診療情報提供書や返書の記載内容を確認し、適切な診療情報の提供に努めました。紹介患者数は前年度比 1,097 人増の 24,172 人、手術室手術件数は前年度比 279 件増の 6,023 件となりました。

(3) ベンチマーク分析等を活用した経費の節減

ベンチマーク分析による適正価格の把握、診療材料等の共同購入により経費を節減しています。

ア ベンチマークを用いた価格交渉

購入価格をベンチマークの平均価格以下にすることを目標とし、128 品目を対象にベンチマークを利用し、うち 75 品目について再見積もりを徴取し、費用削減に努めました。

イ 共同購入事業対象物品の拡大

共同購入物品の各分野で既に対象品目となっている新規格品で、共同購入としたほうが有利であるものを、新たに対象品に追加しました。

(4) 環境負荷低減の取り組み

照明器具の LED 化工事を進め、2024 年度工事分の年間電気削減量は 488,731kwh となりました。

(5) 患者環境の向上

患者用駐車場が手狭であったため第 4 駐車場の拡張工事を行いました。そのほか、分娩室及び分娩エリアトイレの改裝、分娩待機室の Wi-Fi 環境整備、一部の一般病室の改裝を行い、入院患者の環境整備を行いました。

6 数値目標と実績

(1) 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る目標数値と実績

上段()書：目標数値、下段：実績

分類	項目（単位）	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
がん医療	外来化学療法件数（件）	(6,700) 7,166	(6,700) 7,879	(6,700)	(6,700)	(6,700)
がん医療	放射線治療件数（件）	(7,831) 5,926	(7,932) 6,949	(8,036)	(8,140)	(8,246)
がん医療	院内がん登録全数（件）	(2,710) 1,788	(2,745) 1,915	(2,781)	(2,817)	(2,854)
脳卒中対策	脳卒中退院患者数（人）	(792) 732	(816) 740	(842)	(868)	(895)
心血管疾患対策	心血管疾患退院患者数（人）	(868) 1,157	(891) 1,201	(916)	(940)	(966)
糖尿病対策	糖尿病退院患者数（人）	(979) 179	(999) 186	(1,019)	(1,039)	(1,060)
精神医療	認知症疾患医療センター専門医療受診患者数（人）	(450) 513	(450) 500	(450)	(450)	(450)
救急医療	救急外来受診患者数（人）	(20,752) 22,409	(20,856) 22,689	(20,960)	(21,065)	(21,170)
救急医療	救急搬送件数（件）	(8,932) 9,127	(9,132) 8,696	(9,332)	(9,532)	(9,732)
周産期医療	分娩件数（件）	(543) 427	(543) 405	(543)	(543)	(543)
周産期医療	ハイリスク分娩数（件）	(174) 144	(174) 116	(174)	(174)	(174)
周産期医療	母体搬送数（件）	(80) 69	(80) 38	(80)	(80)	(80)
周産期医療	産科外来紹介患者数（人）	(350) 265	(350) 274	(350)	(350)	(350)
小児医療	小児新入院患者数（人）	(2,739) 3,150	(2,709) 2,831	(2,679)	(2,649)	(2,620)
へき地医療支援	へき地代診医・医師派遣件数（件）	(12) 69	(12) 63	(12)	(12)	(12)
医療機能	手術件数（件）	(6,030) 5,744	(6,150) 6,023	(6,270)	(6,390)	(6,510)
医療の質	クリニカルパス適用率（%）	(60.0) 64.8	(60.0) 65.3	(60.0)	(60.0)	(60.0)
連携強化	地域医療支援病院紹介率（%）	(80.0) 75.6	(80.0) 76.8	(80.0)	(80.0)	(80.0)
連携強化	地域医療支援病院逆紹介率（%）	(105.0) 110.7	(105.0) 96.5	(105.0)	(105.0)	(105.0)
連携強化	地域連携クリニカルパス適用数（件）	(480) 552	(480) 589	(480)	(480)	(480)
医師確保	常勤医師数（人）	(211) 208	(213) 209	(214)	(214)	(214)
医師確保	臨床研修医受入人数（人）	(29) 29	(30) 30	(30)	(30)	(30)
医師確保	専攻医受入人数（人）	(41) 37	(41) 40	(41)	(41)	(41)

(2) 経営指標に係る目標数値と実績

上段()書：目標数値、下段：実績

項目 (単位)	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
入院延患者数 (人)	(185,089) 194,196	(186,015) 201,316	(186,945)	(187,879)	(188,819)
外来延患者数 (人)	(289,376) 307,654	(290,822) 305,585	(292,276)	(293,737)	(295,205)
新入院患者数 (人)	(15,768) 17,147	(15,846) 17,517	(15,925)	(16,004)	(16,084)
入院診療単価 (円)	(81,525) 78,250	(85,327) 78,439	(89,252)	(93,358)	(97,652)
外来診療単価 (円)	(27,176) 24,963	(27,502) 26,195	(27,832)	(28,166)	(28,504)
平均在院日数 (日)	(10.8) 10.4	(10.8) 10.5	(10.8)	(10.8)	(10.8)
DPC入院期間Ⅱ以内率 (%)	(70.0) 70.0	(70.0) 67.3	(70.0)	(70.0)	(70.0)
修正医業収支比率 (%)	(93.4) 95.4	(94.4) 93.0	(96.4)	(98.1)	(98.3)
給与費対修正医業収益比率 (%)	(52.3) 52.7	(51.5) 54.3	(50.7)	(49.6)	(48.4)
薬品費対修正医業収益比率 (%)	(20.2) 20.0	(20.2) 20.1	(20.2)	(20.1)	(20.1)
診療材料費対修正医業収益比率 (%)	(11.3) 10.4	(11.3) 10.9	(11.3)	(11.3)	(11.3)
委託料対修正医業収益比率 (%)	(9.7) 9.2	(9.5) 9.5	(9.3)	(9.0)	(8.9)
経常収支比率 (%)	(96.7) 102.3	(97.6) 97.1	(99.4)	(101.8)	(101.8)
現金保有残高 (百万円)	(5,208) 9,734	(4,065) 7,730	(3,913)	(4,244)	(4,831)
企業債残高 (百万円)	(11,358) 11,180	(10,255) 10,177	(9,270)	(9,874)	(8,947)

7 収支計画と決算

(1) 収益的収支

上段()書：計画、下段：決算 消費税抜き表示（単位：百万円、%）

区分		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
収入	1 医業収益 a	(23,387) 23,378	(24,304) 24,286	(25,254)	(26,247)	(27,287)
	(1)料金収入	(22,953) 22,876	(23,870) 23,796	(24,820)	(25,813)	(26,853)
	入院収益	(15,089) 15,196	(15,872) 15,791	(16,685)	(17,540)	(18,439)
	外来収益	(7,864) 7,680	(7,998) 8,005	(8,135)	(8,273)	(8,414)
	(2)その他	(434) 502	(434) 490	(434)	(434)	(434)
	2 医業外収益	(1,919) 2,977	(1,927) 2,389	(1,921)	(2,130)	(2,114)
	(1)他会計負担金	(1,259) 1,156	(1,249) 1,544	(1,238)	(1,268)	(1,268)
	(2)国(県)補助金	(50) 1,030	(49) 51	(49)	(50)	(50)
	(3)その他	(610) 791	(629) 794	(634)	(812)	(796)
経常収益 (A)		(25,306) 26,355	(26,231) 26,675	(27,175)	(28,377)	(29,401)
支出	1 医業費用 b	(25,112) 24,514	(25,821) 26,126	(26,294)	(26,856)	(27,856)
	(1)給与費 c	(12,224) 12,314	(12,521) 13,180	(12,813)	(13,012)	(13,217)
	(2)材料費	(7,372) 7,113	(7,663) 7,547	(7,963)	(8,277)	(8,606)
	(3)経費	(3,764) 3,332	(3,839) 3,630	(3,906)	(3,951)	(4,039)
	(4)減価償却費	(1,655) 1,659	(1,700) 1,673	(1,515)	(1,517)	(1,890)
	(5)その他	(97) 96	(98) 96	(97)	(99)	(104)
	2 医業外費用	(1,154) 1,239	(1,141) 1,351	(1,128)	(1,115)	(1,103)
	(1)支払利息	(129) 130	(113) 117	(97)	(79)	(64)
	(2)その他	(1,025) 1,109	(1,028) 1,234	(1,031)	(1,036)	(1,039)
経常費用 (B)		(26,266) 25,753	(26,962) 27,477	(27,422)	(27,971)	(28,959)
医業損益 a - b		(△1,725) △1,136	(△ 1,517) △1,840	(△1,040)	(△609)	(△569)
経常損益 (A) - (B) (C)		(△960) 602	(△731) △802	(△247)	(406)	(442)
特別損益	1 特別利益 (D)	(401) 429	(2) 23	(2)	(2)	(2)
	2 特別損失 (E)	(12) 49	(12) 35	(12)	(12)	(12)
	特別損益 (D) - (E) (F)	(389) 380	(△10) △12	(△10)	(△10)	(△10)
純損益 (C) + (F)		(△571) 982	(△741) △814	(△257)	(396)	(432)
累積欠損金 (G)		(2,985) 488	(3,726) 1,302	(3,983)	(3,587)	(3,155)
不良債権	流動資産 (ア)	(11,053) 15,639	(9,754) 14,156	(9,447)	(9,069)	(9,573)
	流動負債 (イ)	(4,303) 5,091	(4,322) 5,208	(3,927)	(3,830)	(3,629)
	うち 企業債・リース債務 (ウ)	(1,800) 1,844	(1,844) 1,315	(1,299)	(1,352)	(1,151)
差引	不良債務 (イ) - (ウ) - (ア) (エ)	-	-	-	-	-
経常収支比率 (A) / (B) × 100		(96.3) 102.3	(97.3) 97.1	(99.1)	(101.5)	(101.5)
修正医業収支比率 a / b × 100		(93.1) 95.4	(94.1) 93.0	(96.0)	(97.7)	(98.0)
給与費対修正医業収益比率 c / a × 100		(52.3) 52.7	(51.5) 54.3	(50.7)	(49.6)	(48.4)

(2) 資本的収支

上段()書：計画、下段：決算 消費税込み表示(単位：百万円、%)

区分		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
収入	1 企業債	(971) 627	(641) 841	(214)	(2,221)	(582)
	2 他会計負担金	(892) 870	(1,080) 973	(1,109)	(1,114)	(988)
	3 その他	(4) 6	(401) 6	(401)	(1)	(1)
	収入計 (A)	(1,867) 1,503	(2,122) 1,820	(1,724)	(3,336)	(1,571)
支出	1 建設改良費	(1,816) 1,403	(2,035) 1,753	(1,486)	(3,610)	(1,416)
	2 投資	(4) 4	(4) 904	(4)	(3)	(3)
	3 企業債償還金	(1,800) 1,800	(1,844) 1,844	(1,299)	(1,352)	(1,151)
	支出計 (B)	(3,620) 3,207	(3,883) 4,501	(2,789)	(4,965)	(2,570)
差引不足額 (B) - (A) (C)		(1,753) 1,704	(1,761) 2,681	(1,065)	(1,629)	(999)
補填財源	1 損益勘定留保資金	(1,749) 1,702	(1,757) 2,679	(1,061)	(1,625)	(995)
	2 その他	(4) 2	(4) 2	(4)	(4)	(4)
	計 (D)	(1,753) 1,704	(1,761) 2,681	(1,065)	(1,629)	(999)
補填財源不足額 (C) - (D)		(0) 0	(0) 0	(0)	(0)	(0)

8 2024年度の取り組みへの評価

「医療機能や医療の質、連携の強化等に係る取り組み」では、全体的には前年度の実績に対し改善が見られるものの、周産期医療では前年度実績から減少した指標があります。地域周産期母子医療センターの強みを生かした改善に取り組む必要があります。

「経営指標に係る取り組み」では、入院延患者数の増加などによる医業収益の増加により医業活動は改善傾向でありましたが、新型コロナウイルス感染症関連補助金の終了による国県補助金の減少に加え、人件費の上昇や物価高騰による費用の増加などにより、経常収支は4年ぶりの赤字となりました。総合病院としての強みを生かした医療の提供に加え、手術支援ロボットを始めとする高度医療の積極的な推進とともに、ベンチマーク分析を活用した費用の節減に努めるなど、経常収支の黒字化を目指します。

また、2024年度には医師の働き方改革への対応として、勤怠自動打刻システムによる適正な労務管理や他職種へのタスク・シフトに取り組み、多くの医師がA水準(時間外勤務月100時間未満、年960時間以内)を満たしました。そのほか、看護師の負担軽減を目的とした看護業務実態調査を行うなど、労働環境の改善にも取り組んできました。

今後も、人件費上昇や物価高騰等による費用の増加が見込まれるなど、経営環境はますます厳しい状況が予想されます。経営強化プランの推進とともに、病院を取り巻く環境変化へ機動的に対応する病院経営が求められています。西三河の中核病院として、安定的に良質な医療を提供していく持続可能な体制の整備が必要になります。

【参考】

令和6年度岡崎市病院事業貸借対照表

(令和7年3月31日)

(単位 円)

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1) 有形固定資産

イ 土 地	2,833,938,382
ロ 建 物	38,809,500,851
△ 減価償却累計額	<u>△ 25,214,307,221</u>
ハ 構 築 物	2,786,725,047
△ 減価償却累計額	<u>△ 1,444,412,870</u>
二 器 械 備 品	11,756,290,058
△ 減価償却累計額	<u>△ 9,099,668,408</u>
ホ 車両及び運搬具	2,656,621,650
△ 減価償却累計額	<u>△ 24,525,314</u>
ヘ 放射性同位元素	2,836,724
△ 減価償却累計額	<u>△ 7,129,530</u>
ト 建設仮勘定	<u>116,183,983</u>
有形固定資産合計	20,550,295,016
(2) 無形固定資産	
イ 電話加入権	617,200
無形固定資産合計	617,200
(3) 投資その他の資産	
イ 投資有価証券	900,000,000
ロ 長期貸付金	12,480,000
△ 貸倒引当金	<u>△ 8,280,000</u>
ハ 長期前払消費税	4,200,000
ニ 破産更生債権等	1,201,729,212
△ 貸倒引当金	<u>△ 55,594,388</u>
ホ そ の 他 投 資	0
投資その他の資産合計	<u>409,470</u>
固 定 資 産 合 計	<u>2,106,338,682</u>
	22,657,250,898

2 流動資産

(1) 現金預金

7,729,629,733

(2) 未収金

5,972,704,506

貸倒引当金

△ 26,290,931

5,946,413,575

(3) 貯蔵品

477,260,379

(4) 前払費用

2,633,500

流動資産合計

14,155,937,187

資産合計

36,813,188,085

負 債 の 部

3 固 定 負 債

(1) 企 業 債

イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	<u>8,861,717,076</u>
企 業 債 合 計	8,861,717,076
(2) 引 当 金	
イ 退職給付引当金	4,911,193,892
ロ 修 繕 引 当 金	<u>162,541,250</u>
引 当 金 合 計	<u>5,073,735,142</u>
固 定 負 債 合 計	13,935,452,218

4 流 動 負 債

(1) 企 業 債

イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	<u>1,314,989,435</u>
企 業 債 合 計	1,314,989,435
(2) 未 払 金	2,877,670,302
(3) 引 当 金	
イ 賞 与 等 引 当 金	<u>905,795,371</u>
引 当 金 合 計	905,795,371
(4) そ の 他 流 動 負 債	<u>109,998,386</u>
流 動 負 債 合 計	5,208,453,494

5 繰 延 収 益

長 期 前 受 金	21,099,798,606
収 益 化 累 計 額	<u>△ 17,633,828,016</u>
繰 延 収 益 合 計	3,465,970,590
負 債 合 計	<u>22,609,876,302</u>

資 本 の 部

6 資 本 金

12,070,647,269

7 剰 余 金

(1) 資 本 剰 余 金

イ 受贈財産評価額	52,533,092
ロ 建設改良補助金	620,929,374
ハ 他会計負担金	2,755,030,938
ニ 寄 附 金	<u>5,855,548</u>
資 本 剰 余 金 合 計	3,434,348,952

(2) 利 益 剰 余 金

イ 当 年 度 未 处 理 欠 損 金	<u>1,301,684,438</u>
利 益 剰 余 金 合 計	<u>△ 1,301,684,438</u>
剩 余 金 合 計	2,132,664,514
資 本 合 計	14,203,311,783
負 債 資 本 合 計	<u>36,813,188,085</u>